

## 分科会資料 別紙

### 「道」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

基本方針1 中部圏の中核的都市圏となる地域基盤の形成
目的と手段が逆で、地域基盤を形成することにより、人・もの・情報の交流が進むのではないか。（東三河・行政）
平成39年（2027年）に開通予定のリニア中央新幹線長野県駅と東海道新幹線の豊橋駅がJR飯田線により結ばれ、中央自動車道と新東名高速道路が三遠南信自動車道により繋がることで、交通利便性が飛躍的に向上し、地域経済の活性化、交流・連携活動が促進されることを期待している。今後、この地域の高速度交通基盤の整備に合わせて、更なる交通手段の整備を三遠南信地域が連携して行うことが必要である。（東三河・行政）
新ビジョンにおける地域基盤とは何かを定義した方がわかりやすい。（遠州・行政）
三遠南信地域は、長年培われてきた高度なものづくり基盤技術の集積は大きなポテンシャルを内包している。こうした地域が持つ優位性を活用し、地域間を有機的に結びつけ、全く異なる分野との連携などが促進され、新たな価値の創造を図ることが出来る地域経営戦略を持つことが必要である。（東三河・経済）
「中部圏の中核的都市圏」が具体的にどういう状態を指すのか、イメージがわからない。（遠州・経済）
活力溢れる地域経済の実現のため、地域内の連携強化、地域外からの企業、人材、技術等の誘導、地方創生を後押しする安全・安心で住みよい環境の整備など、これらを支える地域基盤である道路や鉄道、情報通信等の整備は国土強靱化とアセットマネジメントの観点からも必要不可欠である。（南信州・経済）
スーパーメガリージョンとの関連について記述が必要ではないか。（学識者）
推進方針1 人との交流促進
主要施策①
SENA本来の目的である三遠南信自動車道、国道151号等の整備や、これらの道路に接続する道路のネットワーク化が重要であり、すでに記述があるこの内容が必ず必要である。（東三河・行政）
三遠南信自動車道、東三河縦貫道、浜松三ヶ日・豊橋道路の整備により、リニア中央新幹線と三河港・太平洋岸地域に短時間で結ぶ基盤整備が必要である。（東三河・行政）
災害に強い道路の整備により広域防災ネットワークが構築されることを期待する。（東三河・行政）
既存交通ネットワークの相互利活用の促進として、通勤・通学だけでなく、高齢者など様々な層の生活の足として利用される、JR飯田線の利用が考えられる。（東三河・行政）
現行ビジョンに掲げた「三遠伊勢連絡道路構想の実現」について、新ビジョンにおいても構想を推進するものとしてもらいたい。（東三河・行政）
三遠南信自動車道の開通と浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現こそが、新ビジョンの骨格となる。（遠州・行政）
三遠南信地域を結びつけるインフラは非効率であり、幹線道路ネットワークに必要な三遠南信自動車道、浜松三ヶ日・豊橋道路の早期整備が不可欠。また、未整備道路について優先順位をつけて、SENAとして関係機関に要望を行い、充実を図ることが必要である。（東三河・経済）
リニア中央新幹線の開通により、大都市圏のみならず北陸圏との結びつきを深めるインフラ作りが必要である。（遠州・経済）
浜松三ヶ日・豊橋道路の早期着工が望まれる。（遠州・経済）
交通網の整備により、名古屋圏への集中が加速する懸念があることから、三遠南信地域内の特に南北間の交通網整備が必要である。（遠州・経済）
三遠南信自動車道は、中央自動車道と東名高速道路・新東名高速道路を結び、リニア中央新幹線と東海道新幹線を結ぶ切れ目のない広域交通ネットワークを形成する南北軸として大きな役割を担っている。また生活道路としても利便性の高い交通インフラであるため、地域基盤となる広域ネットワークの整備の1つとして、早期開通が必要である。（南信州・経済）
南信州では中央自動車道が物流の中心となっているが、補完する国道の整備状況は十分といえず、更に整備を促進すべきである。（南信州・経済）
「三遠南信自動車道、豊橋・浜松環状道路などの利活用の促進」は、「既存交通ネットワークの相互利活用」や「高速道路のネットワークによる物流効率化」に含まれるのではないか。（国）
浜松三ヶ日・豊橋道路の整備は事業化に至ってないため、「早期着工」より「早期実現」という記載の方が適当である。（国）

## 分科会資料 別紙

### 「道」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

主要施策②
道路完成の効果を具体的に整理する必要があるため、広域的な交通計画の策定が必要である。（遠州・行政）
広域ネットワークの効率的な利用促進では、国道 152 号の整備による長野県諏訪地区との相互利活用も想定すべきである。（南信州・行政）
三遠南信自動車道と国道 151 号のダブルネットワークの形成が必要である。（南信州・行政）
リニア中央新幹線の開業により、東海道新幹線のひかり号の増便や、リニア中央新幹線長野県駅と東海道新幹線を結ぶ新たな飯田線の活用方法の促進など、産業やまちづくりにおいて三遠南信のポテンシャルを引き出すことのできる新たな交通ネットワーク構築に向けた検討が必要である。（東三河・経済）
リニア中央新幹線と東海道新幹線の将来活用など、既存交通ネットワークの相互利活用の促進が必要である。（学識者）
豊橋・浜松環状道路の位置づけが必要である。（学識者）
その他
主要施策①と②について、「広域ネットワーク」の括りでどちらかに統合するか、どちらかを別の表現にした方がよい。（東三河・行政）
自動走行の推進について、交通弱者や高齢化といった社会課題を解決する「地域の足」だけでなく、地域基盤を形成していくツールとしての活用も必要である。（東三河・行政）
主要施策①と②の違いを明確にしておく必要がある。（国）
推進方針 2 情報の交流促進
主要施策①
県境地域における情報通信基盤の都市部との格差及び脆弱性の克服が課題である。（南信州・行政）
SNS を活用し、三遠南信地域の情報を世界に発信することが必要である。（遠州・経済）
TV・ラジオの県境を越えた情報共有が必要である。（遠州・経済）
主要施策②
テレビ会議システムはモデル的に実施したケースがあったが、その後、活用なく終了したため、慎重に検討するべきである。（東三河・行政）

## 分科会資料 別紙

「技」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

基本方針1 革新を取り込む産業創造圏の形成
三遠南信地域の強みをアピールし、魅力ある産業の創出・誘致が必要である。また今後の少子化・高齢化・人口減少時代において、既存産業や新産業での人材・労働力の確保や育成が課題である。（東三河・行政）
産学官だけでなく、金融機関も加え、産学官金で連携する必要がある。（南信州・行政）
自動車産業での、非内燃機関化に対応する省電力高出力の駆動装置や、高エネルギーを保存可能で充電時間の短縮された蓄電システム、燃料電池の開発など、今後の研究課題は山積であり、部門を問わず、産学連携は地域発展の大きな原動力になる。（南信州・経済）
推進方針1 既存産業の活力増進
主要施策①
主要施策①の事業では、官民連携の効果が発揮される事業を掲げる必要がある。（東三河・行政）
既存産業の活力増進には、優秀な人材の確保が必要である。しかし、将来に及ぶ人口減少社会において、人材の囲い込みを続けるのは困難であり、人材の三遠南信地域内還流の確立が必要と考える。（東三河・行政）
主要施策①の想定される事業では、単なる人材だけでなく労働力の事業も入れる必要がある。（南信州・行政）
中小企業にとっていかに生産効率を上げるかが課題である。労働力の確保や物流も含め、連携により改善策を見いだしたい。（遠州・経済）
主要施策②
事業で TOKAIVISION の記述があるが、この固有名詞だけ掲げるのは違和感がある。（東三河・行政）
連携の先に目指すもの、取り組むものを見すえた事業を検討する必要がある。（東三河・行政）
6次産業化の推進のため、三遠南信地域内の JA が一丸となる必要がある。（遠州・経済）
農林水産業とその他の産業が連携した、農商工連携の事業が必要である。（学識者）
金融機関の連携は、信用金庫が既に進めているので、「信用金庫等金融」と特記してはどうか。（学識者）
人材定着とスキルアップは、いずれも大きな事業であり、意味あい異なるため、きちんと分けて考える必要がある。（学識者）
その他
人口減少の歯止めには、通勤時間の短縮化と情報通信網・物流の高速化が重要である。（南信州・経済）
推進方針2 産業創造力の強化
主要施策①
三遠南信地域が日本のシリコンバレーとなれるような取り組みが必要である。（遠州・経済）
主要施策②
地元企業と大学等との共同研究の促進が必要である。（東三河・経済）
主要施策③
地域資源を活かしたコミュニティビジネスの育成が必要である。（東三河・行政）
その他
推進方針2で、農林水産業関連事項を、主要施策もしくは想定される事業として項目立てしてはどうだろうか。（国）

## 分科会資料 別紙

「人」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

### 基本方針1 地域の持続的発展に向けた人材集積地の形成

安心安全な広域生活圏を形成するには、「人と人とのつながり」を地域の最大の資源として、互いに支え合い取り組んでいく必要がある。（東三河・行政）

### 推進方針1 次代を担う人材の育成・確保

#### 主要施策①

スキルアップも重要ではあるが、地域内外のさまざまな分野の最先端の技術や人物に触れてもらう機会の創出やチャレンジを支援することも必要である。（東三河・行政）

若者議会や、若者政策といった取り組みが必要である。（東三河・行政）

高校卒業後、地域から離れた若者のUターン促進を図るとともに、高等学校から地域に適した教育課程などを設け、人材の流出を防ぐことが必要である。（南信州・行政）

青年海外協力隊に代表される国際感覚を持ち合わせ、高いボランティア意識を持つ人材の育成及び活躍の場づくりが必要である。（南信州・行政）

行政人材は三遠南信県境連携の受け手であるため、自治体連携の基盤となる行政人材の交流、研修などを事業として加えてはどうか。（学識者）

#### 主要施策②

「人」という基本方針に掲載するならば、共有化やデータベース化を図ることにより、人材の育成を目指すという表現が必要である。（東三河・行政）

「各自治体に関する図書の共有化」とあるが、単に図書だけではなく、「映像」なども含め、幅広い情報の共有化が必要ではないか。（学識者）

図書の共有化は具体的な事業が想像しづらい。（学識者）

情報のデータベース化とともに、市民意識などの情報収集、地域を認識する講座などの情報発信が必要である。（学識者）

### 推進方針2 多文化共生社会の形成

#### 主要施策①

外国人学校への支援は、通常の学校と外国人学校の統合を進める現代の流れと逆行するのではないか。現行のビジョンを踏襲し、「外国人児童・生徒に対する学習支援」に変更する必要がある。（東三河・行政）

「LGBT パートナーシップ制度の導入」はかなり具体的であり、地域全体の意向調査が必要である。まずは、LGBT に対して偏見を持たせない教育や啓発などによる相互理解から始めてはどうか。（東三河・行政）

#### 主要施策②

「雇用機会の創出」というより、「雇用環境の向上」の方が適当である。例えば女性ならば、安心・安定して働くための「育児や家事の支援策」が必要ではないか。（東三河・行政）

事業対象に外国人も加える必要がある。（東三河・行政）

女性と中高年層は、別の事業として検討する必要がある。（学識者）

#### その他

多文化共生というと外国人のイメージがあるが、LGBT や女性、中高年層などを対象に多文化共生という表現は違和感がある。（東三河・行政）

地方創生でも進められている多文化共生社会の仕組みづくりとして「生涯活躍のまちづくり（日本版 CCRC）」を加えてはどうか。（南信州・行政）

「人」という方針で多文化共生を取り上げるのであれば、「多文化共生教育の推進」や「多文化共生の史実の発掘」などを追加してはどうか。（学識者）

## 分科会資料 別紙

「風土」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

<b>基本方針1 塩の道文化創造圏の形成</b>
塩の道は南北軸の起源であるが、地域内全ての取り組みが塩の道に関連するとは限らないため、基本方針の表現としてはもう少し幅広く掲げた方がよい。（東三河・行政）
三遠南信地域は、沿岸部から山間部に及ぶ豊かな自然を有し、貴重な歴史・文化の宝庫である。それら資源を地域が再認識し、新たな価値づくりに取り組み、保存・活用を行うことで、愛郷心が一層に醸成されるとともに交流人口の増加により経済も活性化し、活気のある地域になると考える。（東三河・行政）
例えば「塩の道文化・観光圏の形成」など、基本方針に観光を連想できるワードを入れてはどうか。（遠州・行政）
<b>推進方針1 地域資源を活かした広域観光の推進</b>
<b>主要施策①</b>
インバウンドを意識した事業が必要である。（東三河・行政）
単独の市町村だけでなく、広域での観光プロモーションにより、この地域の魅力を複合的にPRすることが必要である。（東三河・行政）
観光においては、山岳観光や温泉活用、「信州そば」などの食文化を具体的キーワードとして盛り込んでほしい。（南信州・行政）
主要施策①の想定される事業に、観光DMOの検討を追加してはどうか。（南信州・行政）
「おんな城主 直虎」だけでなく、その他の歴史上の人物も、広域観光プロモーションとして取り上げてはどうか。（南信州・行政）
天竜奥三河国定公園の自然資源を活かした広域観光の推進が必要である。（南信州・行政）
テーマやストーリー性を重視した広域観光商品づくりが必要である。（東三河・経済）
主要施策①にダムツーリズムの推進を追加してはどうか。（国）
<b>主要施策②</b>
三遠南信地域の中心部を通過するJR飯田線の沿線地域が連携して観光資源を結び付けることで、新しい価値が生まれる。（東三河・行政）
事業として、この地域の広域観光の手段として有用である、ドライブ、ツーリング、サイクリングなどを追加してはどうか。（遠州・行政）
JR飯田線へ観光列車を導入するための取り組みが必要である。（遠州・経済）
<b>その他</b>
三遠南信地域の観光地への誘客を図るため、Wi-Fiステーション及び、無線アクセス装置の整備拡大が必要である。（東三河・行政）
リニア中央新幹線開通後の、関東からの誘客を意識して取り組んでいくことが必要である。（南信州・行政）
現代の観光にとって重要な要素となっている「エコツーリズム」を意識して、事業を実施していく必要がある。（学識者）
<b>推進方針2 地域資源の保存と継承</b>
<b>主要施策①</b>
地域資源の認識と継承は、幼少期における学びや体験等が大きく影響するため、幼少期から地域の伝統文化への参加を促すことが必要である。（東三河・行政）
地域おこし協力隊の交流機会の創出をして、何を指すのかを考える必要がある。（南信州・行政）
伝統芸能の映像コンテンツや関連商品の開発が必要である。（東三河・経済）
伝統芸能を集めたイベントを開催してはどうか。（遠州・経済）
南信のうち、上伊那地域の文化は、三河・遠州地域からの影響を受け、伝承と、文化交流の終着点だと考えられる。これらを永く保存伝承することが、今後の地域の相互交流に寄与する。（南信州・経済）
<b>主要施策②</b>
想定される事業では、例えば「伝統野菜や食文化の継承・発展」など、具体的な項目を掲げてもよいのではないか。（学識者）

## 分科会資料 別紙

「山・住」 基本方針等への意見（SENA 構成員、新ビジョン策定委員、オブザーバー）

基本方針1 安全安心な広域生活圏の形成
「山・住」を「暮らし」や「定住」などに変更してはどうか。（東三河・行政）
推進方針1 流域定住推進モデルの形成
主要施策①
「首都圏への移住・定住情報発信や婚活事業の共同実施」について、「移住・定住情報発信」と「婚活事業」は内容が異なるため、それぞれ事業は分けた方がよい。（東三河・行政）
婚活事業の共同実施は広域で行うメリットがあるが、地域内競争にならないような仕組みの検討も必要である。（東三河・行政）
定住の施策には安全安心な生活環境基盤をつくる必要がある。（東三河・行政）
首都圏への情報発信とあるが、首都圏だけでなく中京圏への情報発信も必要である。（遠州・行政）
主要施策②
救急医療は健康づくりに位置づけられるのか疑問である。市町村域を越えた健康イベントへの参加促進や、中山間地の自然を活かした健康ツアーの提案・実施などを想定される事業としてはどうか。（東三河・行政）
推進方針2 自然資源の循環利用の推進
主要施策①
「農林業の有効的な活用」は範囲が広い。遊休農地などの情報を共有し、農業法人化を目指す者や農家を目指す都市部の者へ情報提供や取得支援などを事業として加えてはどうか。（東三河・行政）
「再生エネルギー開発事業の推進」では、地域ごとに対象とする再生エネルギー資源や規模が異なるため、その特色を活かした取り組みを加えてはどうか。（東三河・行政）
「地域おこし協力隊の交流機会の創出」をして、何をを目指すのかを考える必要がある。様々なネットワークを構築できる人材の育成を目指し、三遠南信版地域おこし協力隊制度を事業とするのはどうか。（東三河・行政）
三遠南信地域の自然や地形を活かした新たなアウトドアスポーツによる観光振興を目指してはどうか。（東三河・行政）
森林資源活用（薪やペレットの活用）による二酸化炭素削減を目指す必要がある。（南信州・行政）
再生可能エネルギーの具体例として、中山間地域の急峻な地形を活用した小水力発電（マイクロ水力発電）の取り組みが必要である。（南信州・行政）
地域おこし協力隊の交流機会の創出をして、何をを目指すのかを考える必要がある。（南信州・行政）
山林の適正な管理は、官民が一体となって取り組まなければならない重要な課題であり、森林のあり方、利活用方法を具体的に検討する必要がある。（遠州・経済）
主要施策①に産学官民が参加し、県境を越えた「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進を加えてはどうか。（国）
主要施策②
事業として、三遠南信地域全体で環境先進地域としてのPRや住民の意識向上、子どもの環境教育に繋げるなどの取り組みをしてはどうか。（東三河・行政）
天竜川流域圏・豊川流域圏、浜名湖・三河湾の環境保全活動などの行動計画づくりを加えてはどうか。（住民）
河川環境保全の推進を加えてはどうか。（国）